

視聴覚センター広報紙

発行 島根県西部視聴覚障害者情報センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町1826-1 いわみーる2階

電話 0855-24-9334 FAX 0855-24-9335

Eメール bd\_seibu@bd-iwami.org

ホームページ https://www.bd-iwami.org

Facebook @seibusichoukaku

# かわらばん

## 令和4年度センター事業推進会議 開催

所長 小松京子

今年、昨年比べて1ヶ月以上遅い梅雨入りでしたが、2週間ほどで梅雨明けしました。戻り梅雨と  
思われる天気が続いていますが、県西部では、この3か月の降水量が平年の6割程度の所が多く、水不足  
とならない心配です。また、6月は、熱中症で救急搬送された人の数が、過去最多だったそうです。しか  
も、約半数は、屋内にいて発症しています。特に高齢者、子ども、持病のある人などは発症しやすいそう  
です。自分は大丈夫と過信せず、こまめな給水と塩分補給、エアコン等での温度調節、疲れをためないことな  
どに留意して、お互いに予防に努めましょう。

さて、6月27日(月)に、当センターの事業推進会議を開催しました。今年、県の障がい福祉課、西部  
地域各市町の障がい福祉担当課、視聴覚障がい者団体の皆さんにご出席いただきました。

昨年度、コロナ禍の中、感染対策をとりながらなるべく多くの事業の実施に努めました。その事業報告  
や、今年度の事業計画等について説明しました。当センターの周知活動や、視聴覚障がいへの理解を深め  
るための福祉学習、イベントでの啓発展示等を通して、センターを利用される方の増加を目指しています。

県からの制度説明で、地域生活支援事業及び支援促進事業について、地域の実情や利用者の状況に  
応じ、柔軟な形態により実施する事業であり、新型コロナウイルス感染防止対策前提で、できるだけ継続  
的に事業が実施されること、意思疎通支援では、予防接種に関する対応など、障がい特性を踏まえた情報  
発信に努めることが重要であると、再認識しました。

今年5月に、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立しました。障がいがある  
ことで、日常生活や災害時に情報が得にくいことや、情報格差をなくすため、国や自治体が施策を進  
める責務を明記した法律であることが説明されました。

つづいて、市町、団体の皆さんからも、最近の取り組み状況等をお話いただきました。その後、手話言語  
条例、障害者差別解消条例等の制定、読書バリアフリー法に基づく基本計画の策定に関して、早期制定  
に向けて活発な意見がだされました。すべての人が共に生きる社会を目指す様々な運動を通して、普及  
啓発の推進が図れるよう、今後の行政の取り組みに大いに期待するところです。

また、ボランティア及び意思疎通支援者の育成に関しても、様々なご意見を頂きました。ボランティアの  
皆さんへの支援も重要なことと位置づけ、当センターも関わっていきたくと思っています。

この会議で、国の障がい福祉施策の動向、県の取り組みの現状、各市町・団体からの情報提供や、  
視聴覚障がい者施策についての意見交換ができました。皆様からいただいたご意見やご提案は、今後の  
センターの運営や事業推進に活かしてまいります。

引き続き、皆様からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





# れんさいきかく 《連載企画》デフリンピックに参加して 第1回

さんか だいっかい  
第24回夏季デフリンピック 卓球競技日本代表  
だいいっかい  
ますだしりつますだちゅうがっこう やまだもえみ  
益田市立益田中学校 山田萌心

わたし は 2022年5月1日から 15日まで、ブラジルのカシア・ド・スルス市で開催された第24回夏季デフリンピック卓球競技に、日本代表として参加させていただきました。73カ国から約2400人が参加し、20の競技が行われ、卓球競技には日本から男子4人、女子4人が参加し、私は13歳での日本代表最年少出場でした。

みなさんはデフリンピックをご存知でしょうか。オリンピックやパラリンピックは多くの方が知っていると思います。しかしながらデフリンピックに関しては、わずか15%位の人しか知らないのです。私の親も私が出場するまでよく知りませんでした。中には中学生の大会か?なんていう方もいるようです。

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことで、デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。なのでデフリンピックは4年に1度開催される「ろう者のためのオリンピック」なのです。夏季開催があれば、もちろん冬季開催もあります。初めて開かれたのは1924年夏のフランス大会だったようで、実は100年近い歴史があるのです。残念ながら日本での開催は1度もなく、次の2025年の開催は日本でと現在招致活動中で、日本での開催が決まれば、ぜひとも出場を目指して頑張りたいと思います。

私は生まれつきの難聴者です。小さいころの検診で指摘され、すぐに総合病院で様々な検査をし、感音性難聴と診断されたそうです。そこから補聴器の使用が始まりました。卓球に出会ったのは4歳の時でした。親の強い勧めで2歳年上の姉と一緒に卓球を始めました(理由については親に聞いてください)。卓球の練習は楽しい時もありましたが、毎日の練習(週6日)でやめたい気持ちのほうが大きかったです。自分が休みたいと言った時、当時通っていたクラブの監督や両親は無理せずに休ませてくれました。無理をして嫌になるよりも、楽しく続けることを一番に考えての対応だったようです。今では楽しいことが多く、時々休みたいなあと思うこともありますが、毎日の練習をがんばっています。

今回のデフリンピックに出場するためには代表選考会(1次・最終)があり、私は昨年10月にあった最終選考会に出場し、そこで優勝し日本代表内定をいただきました。そして5月に行われたデフリンピックに初めて出場することができたのです。いままでに国内の全国大会には何度か出場したことはありましたが、世界大会への出場は初めてでした。ましてや初めての海外旅行がブラジルになるなんて思ってもみなかったです。(かわらばん93号に続く)

## 『(聴覚)セミナー&交流会を開催します』

今年は、「防災」をテーマにセミナーを開催します。自分用の避難計画「マイタイムライン」をつくります。

ぜひご参加ください!!

日時 2022年8月21日(日) 13時30分~15時30分

場所 いわみーる 体育室(浜田市野原町1826-1)

内容 「マイタイムライン」をつくろう! (講師 浜田市防災安全課)



# シリーズ・ブラインドサッカー 最終回 「今後のオロチビート」

はまだし はいがみ まこと  
浜田市 拝上 誠

チームが発足し3年を迎えようとしています。最初は私一人でしたが、この3年間で多くの方とつながり、活動の幅が広がっています。しかし、県民の皆さんにブラインドサッカーを知ってもらうこと、視覚障がいを知ってもらうには、まだまだ程遠い道のりです。

直近の目標としては、9月11日、広島市で開催されるブラインドサッカー地域カップに出場し、まだ達成できていない得点を取り勝利することです。チームが強くなることで、島根を少しでもアピールできたらと考えています。将来は、島根で公式戦を開催し、多くの方にブラインドサッカーを観戦し応援してもらえる環境を作りたいと考えています。

視覚障がいを知ってもらう活動としては今後も小学生から大人までを対象に体験会を行っていきます。

これまでは地元の浜田が中心の体験会にとどまっていますが、今後は島根県中部、東部でも開催していきたいと考えています。将来は、行政と連携し小学生の福祉教育の一環としてブラインドサッカーが標準化できればと考えています。

健全者と視覚障がい者が混ざり合う社会を実現させるためには、様々なやり方があると思いますが、私たちはブラインドサッカーを武器に、様々な方とつながり社会の変化を生み出せればと考えています。まだまだメンバーが少ない状況です。ぜひ一緒に社会を変える価値ある活動をしてみませんか。

この記事を見ている方はもちろん、お知り合いの方にもお声掛けを頂き、ぜひ一度ブラインドサッカーを体験、見学していただきたいとおもいます。

今後ともチームの応援をどうぞよろしくお願ひします。

## 視覚障がい・聴覚障がいについての学習を行っています

今年度も、西部地域の小・中学校を中心に、視覚障がいや聴覚障がいについて学ぶ福祉学習を行っています。6月16日には、益田市立小野中学校の2年生16名が視覚障がいについて、6月23日・28日には、江津市立渡津小学校の3年生17名が聴覚障がいについて学びました。

職場対象の講座も行っていますので、ご希望の方はセンターまでご相談ください。



## 浜田ライオンズクラブ様より CD-RW の

### ご寄贈をいただきました

5月17日(火)、浜田ライオンズクラブ様(会長 福本 貴大 氏:写真右)から CD-RW200枚のご寄贈をいただきました。ご寄贈いただきました CD は、録音図書・雑誌貸出用メディアとして活用させていただきます。ありがとうございます。(撮影用にマスクを外しています。)



# かんせいとしょ せいさくちゆう としよ 完成図書&製作中の図書

2022年4月~2022年6月

期間中に完成した図書と現在製作中の図書の一部をご紹介します。

※利用者の皆様方には、期間中の全ての新刊案内をお送りしていますのでご利用ください。

## <点字図書>

<p><b>完成図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しぐれ迷い橋 柳橋ものがたり6 森真沙子</li> <li>・日本大空襲「実行犯」の告白 鈴木冬悠人</li> <li>・わたしのいないテーブルで デフ・ヴォイス 丸山正樹</li> <li>・お世継ぎの座 御庭番の二代目 17 氷月 葵</li> </ul>	<p><b>製作中の図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会津武士道1 ならぬことはならぬものです 森 詠</li> <li>・消えた雛あられ はたご雪月花2 有馬美季子</li> <li>・「研究室」に行ってみた。川端裕人</li> <li>・そのマンション、終の住処でいいですか? 原田ひ香</li> <li>・幕臣の湯屋 本丸目付部屋11 藤木 桂</li> </ul>
---	--

## <デージー図書・カセットテープ図書>

<p><b>完成図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族セッション 辻みゆき</li> <li>・むすび橋 結実の産婆みならい帖 五十嵐佳子</li> <li>・世界でいちばん優しいロボット 岩貞るみこ</li> <li>・黄昏時の診察室 松本祐二</li> </ul>	<p><b>製作中の図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満月珈琲店の星詠み ライオンズゲートの奇跡 望月麻衣</li> <li>・ニワトリと卵と、息子の思春期 繁延あづさ</li> <li>・名前だけでもおぼえてください 風力オル</li> <li>・崖っぶち長屋の守り神 田中啓文</li> </ul>
--	---

## <テキストデージー図書>

<p><b>完成図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪見酒 新・酔いどれ小籐次21 佐伯泰英</li> <li>・はなの味ごよみ5 セタそうめん 高田在子</li> <li>・焦茶色のナイトガウン 赤川次郎</li> <li>・入舟長屋のおみわ 春の炎 江戸美人捕物帳 山本功次</li> </ul>	<p><b>製作中の図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わるじい慈剣帖9 ねむれない 風野真知雄</li> <li>・拙者、妹がおりまして5 馳月基矢</li> <li>・八丁越 新・酔いどれ小籐次24 佐伯泰英</li> <li>・お師匠様、出番です! からぬけ長屋落語人情噺 柳ヶ瀬文月</li> </ul>
---	---

**2022年度の主な行事予定** ※新型コロナウイルスなどの影響により、変更する可能性があります。

- 点字図書館探検 2022年7月30日(土) 小学生対象
- 点訳・音訳奉仕員養成講習会 2022年5月~(浜田会場・益田会場) 開催中
- (聴覚)セミナー&交流会 2022年8月21日(日)
- (視覚)利用者とボランティアのつどい 2023年3月予定
- 点訳勉強会(いわみーる 視聴覚研修室) 偶数月第1土曜日 13時30分~
- かわらばん発行 4月・7月・10月・1月